

～ 真理の道・誠の道・平和の道～

東 雲



平戸市立度島小中学校

学校だより No.8

令和7年6月9日(月)

文責：校長 園田栄作

〇〇〇〇さんが堂々と発表！

～ 令和7年度 第20回平戸市「少年の主張」大会 ～

8日(日)に平戸市「少年の主張」大会が開催されました。市内の各小・中学校から代表(総勢22名)が参加し、本校からは6年生の〇〇〇〇さんが出場しました。平戸市文化センターの広い大ホールで、多くの来場者に見守られる中、堂々と力強く発表することができました。度島の伝統行事「盆ごうれい」に対する思いを主張し、ふるさとを大切にしていこうとする思いが伝わりました。 *原稿を裏面に掲載



交通安全の意識を高めた 「交通安全教室！」

平戸市の交通指導員の方に、5月30日(金)に来ていただき交通安全教室を開催しました。1・2年生は道路での安全な歩き方、3～6年生は自転車の安全な乗り方について指導いただきました。飛び出さないことや安全確認を十分すること等を教えていただきました。3年生以上で自転車に乗車させる際には、運転技能を確認の上、保護者の了解のもとにお願いします。



心を込めて植えた 「いもさし！」

2日(月)に、1～4年生がいもさしを行いました。大きな芋に育ってほしいことを願いながら一本一本心を込めて植えました。これからは、イノシシ対策を講じながら、水かけや草取りをしてお世話をしていきます。子どもたちが毎日欠かさず水やりをしているので、さっそく新しい芽が出始めています。子どもたちは、苗が生長していく様子がとても楽しみようです。



「島の宝を守る」

平戸市立度島小学校 六年 〇〇〇〇

私の宝物は、サッカーボールです。

みなさんの宝物は何ですか。

みなさんの住む地域の宝は何ですか。

私が住む度島は、人口が約六百人の小さな島です。私が通う度島小学校の全校児童は、二十七名で、六年生は二人です。人数は少ないですが、気持ちの良い挨拶を行い、ボランティア活動をがんばる、元気なメンバーがそろった楽しい学校です。

地域では、夏祭りでたくさんの花火が打ち上げられたり、冬のイルミネーション点灯で島に帰省した人たちをきれいな飾りつけて迎えたり、とても美しい景色を目にすることが出来ます。このように、私の住む度島には地域の方々が中心になって作り上げてきたみんなが楽しめる行事があります。

しかし、今、残念に思っていることが一つあります。それは、度島の伝統行事である「盆ごうれい」が行われなくなったことです。「盆ごうれい」とは、度島に伝わる民族芸能で、島民の平和と豊年、豊作を願う祭りとして江戸時代から受け継がれてきたもので、県の文化財に指定されています。しかし、コロナウイルス感染症の流行で人が集まらなかったことや島の中の人口が減ってきたことが理由で、現在は実施されていません。私が、一年生になったときから中止になり、昨年まで再開されていません。

私の母が子どもの頃は、「盆ごうれい」に参加していたそうですが、私は本物の「盆ごうれい」を見た記憶がありません。そのことがとても残念で、一度でもいいので参加したいと思っています。私が四年生の時、度島小学校五・六年生が「盆ごうれい」を復活させようという学習に取り組みました。私も五年生になったとき、その学習を引き継ぎ友達のお父さんから踊りを教えてもらったり、「盆ごうれい」の歴史について調べたりしました。

十月の学習発表会で、学んだことを生かし、保護者・地域の方々に「盆ごうれい」の衣装を着て踊りを披露しました。地域の方々は、「上手だったね。」「懐かしかった。」などと喜んでくださり、一緒に踊ってくださる方もいました。地域の方々のこのような姿を見て、度島の人たちにとって「盆ごうれい」は、島の宝なんだ」と強く感じました。そこで、島の宝を守るためにできることはないかと考え、実際に行動したいと思いました。

「盆ごうれい」の復活のために考えていることの一つ目は、私たち小学生が踊りを受け継ぐことです。誰も踊れなくなってしまったら、復活は絶対にありえません。私たち若い世代が大人から教えてもらい受け継ぎ、いつ復活してもいいように準備しておきたいです。

二つ目は、度島を有名にすることです。「盆ごうれい」が実施されなくなった理由の一つに人手が減ってきたことがあります。度島には豊かな自然があり、県の内外から釣りをする人たちが訪れています。釣りを中心に度島のよさをアピールし、度島や「盆ごうれい」のことを知ってもらおうようにします。そうすれば、観光客が増え度島を離れた若い人たちが戻ってくるかもしれません。課題だった人手不足の解消につながりたいです。

三つ目は、今ある夏祭りの中に「みんなが踊る盆ごうれい」というイベントを入れることです。私たち小学生と度島に住んでいる人、度島に帰ってきた人が一緒にになり、「盆ごうれい」を踊ります。みんなと一緒に踊ること、「盆ごうれい」のよさを思い出し、復活させようという大人の気持ちが高まると思います。この気持ちを度島全体に広げ、復活させたいと思っています。

私はいつか、「本物の盆ごうれい」に参加し、たくさんの方々と触れ合いたいです。一緒になって踊り、島の宝を守り、地域の絆を深めたいです。

そのために、私のできることを続けていきます。

